

日教組香川 2015. 10



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

発行人 嶋村太伸
毎月10日発行



2面 教え子を再び戦争に送らない
日教組書記長談話
特別寄稿 試合はまだ続いているぜ

3面 大先輩から現場教職員への伝言

4面 お知らせ・カナリア通信

9.23さようなら原発、さようなら戦争
全国集会であいさつする落合恵子さん

教え子を再び戦場に送らない!!

9月19日未明、自民・公明の与党は、参議院本会議で「安保関連法案」＝「戦争法案」を可決、成立させました。特別委員会では強行採決を行い、速記録に「発言する者多く、議場騒然、聴取不能」と採決の記録はないにも関わらず、政府与党は「可決された」としました。世論や民意、議会のルールをことごとく無視した行為を許す訳にはいけません。

今回の「戦争法案」は、大多数の憲法学者や多くの市民が「違憲である」という声をあげている中、明らかに憲法の三大主義の「平和主義」を覆すものです。

日教組香川は、教職員組合として、平和な世界を求めます。かつて、戦前の多くの教師が、多くの子どもたちを戦場送り、人を殺したり、また殺されたりしました。そこから「教え子を再び戦場に送るな」の日教組の不滅のスローガンが生まれました。

今後も日教組香川は、中央では日教組と、また県内では「戦争をさせない香川1000人委員会」とともに「戦争法案」廃止に向け取り組みを強化します。そして、香川の教職員の皆さんに、私たちとともに平和を求めていくことを訴えます。

「安全保障関連法」に断固反対し、日本国憲法の理念を取り戻す日教組書記長談話

2015年9月19日

日本教職員組合 書記長 岡本 泰良

9月19日未明、「平和安全整備一括法案」及び「国際平和支援法案」が、与党の動議により発言時間が制限されるという言論統制された中、参議院本会議で強行採決され成立した。前日の参議院特別委員会でも、地方公聴会の報告と総括質疑が省略され、速記録でも聴取不能なほど騒然とした中で与党は採決を強行した。日教組は、この暴挙に対し満身の怒りと憤りを込め断固として抗議する。

「安全保障関連法案」は、立憲主義を破壊し、法的安定性もなく法治主義を否定する戦後最悪の違憲の法案である。また法案を成立させた手法は、国民主権を蔑ろにし、数の力によって国会を支配しようとするなど、民主主義を否定するものであった。さらに安倍首相は、違憲立法による憲法破壊だけでは飽き足らず、「自民党立党以来の悲願の憲法改正については、粘り強く取り組んでいきたい。」、「まだ国会でそれぞれの3分の2を構成できる状況には全くない。」とし、来夏の参院選後の憲法「改正」を目論んでいる。

各種世論調査では8割近くが「政府の説明は不十分」だとし、半数以上が「政府の安全保障法案は憲法違反」、あるいは「今国会での成立に反対」としている。この間、若者・学生・母親・学者・研究者をはじめ多くの市民が、「戦争をさせない」という思いから法案に反対し、やむにやまれず行動を起こしてきた。それは法案の成立が、歴史に大きな汚点を残すだけでなく、こ

の国の民主主義にも大きな禍根を残し、国民の生命と財産をむしろ危険に晒しかねないとの危機感を抱いたからである。

日教組も、署名行動や独自の街宣行動、集会、そして国会前行動などにとりくんできた。この国の立憲主義、民主主義と平和主義を取り戻すためにできることは、まだいくらでもある。私たちは教職員として日々、憲法の基本原理は人々の不断の努力なくして実現できないこと、民主主義は単なる多数決主義では独裁となり、少数者の権利を守ってこそ有効であること、自らの意見を表明し行動することが国民主権の根幹であることなどを子どもたちに伝えていく教育実践を重ねていかなければならない。

「安全保障関連法」は成立されたものの、違憲立法であり無効であることは明白である。法律に実効性を持たせるには国会承認が必要であり、当面は衆参の「ねじれ」を生じさせることで国会承認を阻まねばならない。そのためには来年の参議院議員選挙が重要であり、国会での改憲勢力を後退させるためにも民主的なりべらる勢力の総集が求められている。

日教組は、違憲な法律を断固として認めないとともに、昨年7月の閣議決定の撤回と、この法律の廃止に追い込む運動を、平和フォーラム・戦争させない1000人委員会と連携して強化していく。

以上

特別寄稿

試合はまだ続いているぜ

嶋村太伸(高・栗林小)

「勝負に勝って、試合に負けた」

その日、そこには、焦燥感などなかった。

安保関連法案は可決された19日以降、「勝負に勝って、試合に負けた」の言葉が聞かれた。

安保関連法案が参院本会議で可決成立した。法案採決という試合は負けたのだ。国会での数の力に。多数決の論理は強い。多くの市民が違憲だと思ふ法案も、多くの市民が問題だと思ふ法案成立過程も、国会の中の数の論理の前ではどうしようもなかったのだ。

もちろん、最初から負け試合であることはわかっていただようなものだった。

しかし、多くの市民が声をあげた。「廃案」の声をあげ、「憲法を守れ」と声をあげた。だから「勝負に勝って、試合に負けた」のか。

私は思う。「いや、試合はまだ終わっていないぞ」と。

まだホームの試合がある

そこは、9月23日、東京の代々木公園。「9.23さようなら原発 さようなら戦争 全国集会 -NO NUKES NO WAR-」。

開会の言葉で、落合恵子さんは「私たちはタフで、デリカシーのあ



オープニングライブのTOSHI-LOWさん(右)と佐藤タイジさん

るファイターになろう！」と。上野千鶴子さんは「真っ当なことを真っ当にしていい時代がきた！」と。そして、SEALDsの奥田愛基さんは「新しいやり方や世代を超えて闘える準備がもうわれわれにはできている」と。最後に、大江健三郎さんは「深い思いを誘われる言葉が若い人たちによって担われている」と。元気の出る言葉の数々だった。終わっているように見えて、実は何も終わっていないのだ。

あえて言うなら、サッカーのホーム&アウェイでのトーナメント試合。今回の法案成立は、国会というアウェイの試合で、1-2で負けたようなもの。まだ、ホームの試合がある。1-0で勝てば、総合計で引き分けでも、アウェイゴールの差で試合は勝つのだ。2-0でも、3-1でも。次の試合は来年の参議院選挙。安倍政権なんかにだまされない市民のホームゲームなのだ。チャントを歌い、手拍子する。勝負はまだ続いている。そして、私たちは勝てる。そう思えばわくわくしないかい。

絶対あきらめない

集会のオープニングライブはステキだった。TOSHI-LOWさんと佐藤タイジさん歌う忌野清志郎バージョンの「明日なき世界」。力強かった。一緒の声をあげたぜ。

『明日なき世界』

訳詩：高石友也・忌野清志郎

東の空が燃えてるぜ
大砲の弾が破裂してるぜ
おまえは殺しの出来る年齢
でも選挙権もまだ持たされちゃいねえ
鉄砲かついで得意になって
これじゃ世界中が死人の山さ
でもよオー 何度でも何度でも
おいらに言ってくれよ
世界が破滅するなんて嘘だろ、
嘘だろ

世界が破滅するなんて嘘だろ！って笑えるぐらいの平和をつくろうぜ。夢と希望なんて捨てない。全ての人たちと、はにかみながら平凡な日々を送りたい。大好きサッカーのチームの応援だってしたいさ。まだまだ試合は続く。勝負はまだついていない。だから『絶対あきらめない』。

大先輩から現場教職員への伝言 戦前・戦中の教育(1)

今こそ「教え子を再び送らないための民主教育」を

香川県退職教職員協議会 会長 大林浅吉

安倍内閣は、日本国憲法を無視して、集団的自衛権行使のための安保法案を強行可決してしまいました。そして、戦前・戦中のような教育にして「上官の命令には絶対に従う若者を育てよう」と躍起になっています。

今回から、93歳になる私が体験した戦前・戦中の教育の実態をお伝えします。

私は1929年4月4日、綾歌郡坂本小学校に入学しました。教科書はすべて国定教科書で、国語は「ハナ ハト マメ マス」で始まります。4月29日には「天長節」の儀式があり、講堂に全校生徒が整列し、右側には村長・村会議員・軍人・警察官等、左側には男先生・女先生が月給の高い順に並びます。校長先生が講堂正面の壇上の扉を開けると、「御真影(天皇・皇后の写真)」が飾られてあります。一同最敬礼、次に壇上の校長先生の前へ教頭先生が黒い箱に入った教育勅語を恭しく持っていきます。校長先生が白い手袋をはめて箱から巻物を出して広げ「朕惟フニ・・・」と厳かな声で読み始め、一同頭を下げて聞きます。「御名御璽」で勅語が終わると、生徒たちはずるずると鼻汁をすすりながら頭を上げます。このような儀式が1月1日「新年式」、2月11日「紀元節」、11月3日「明治節」と年4回あり、入学式や卒業式より

も重視されていたようです。中学校や師範学校には小学校より立派な奉安殿(御真影や教育勅語を入れてある)がありましたが、このような儀式はなく休日であったのに、小学校では厳粛に行われたのは何故だったのでしょうか。

修身はもちろん国語や唱歌も楠正成・児島高德・広瀬中佐・一太郎や一い等忠君愛国を中心にしたものがたくさんありました。1931年3年生になると満州事変、続いて上海事変が始まり、満州行進曲・中村震太郎・肉弾三勇士の歌を学校でも教えられました。運動会でも肉弾三勇士が出てくる模擬戦、学芸会では「天皇陛下バンザイ」と叫んで戦死する戦争劇が上演されるようになりました。

(次号へ続く)



大林浅吉プロフィール

- ・1922年4月生まれ
現在93歳。
- ・1941年
香川師範大陸科卒業後、蒙古張北日本国民学校で教鞭をとる。
- ・1943年1月
丸亀歩兵12連隊に入隊。
- ・1945年8月
上海で終戦、翌年2月無事復員。

【お知らせ】

第11回香川レインボー映画祭

LGBTなど性的少数者をテーマにした映画祭

- ・日時：2015年10月18日(日)13:00~19:00
- ・場所：情報通信交流館e-とぴあ・かがわ
- ・チケット：1プログラム1,300円
高校生以下無料。
障害者本人は無料。
介護者1人につき800円(2人まで)。

・プログラム

- 13:00~ A「追憶と、踊りながら」
- 15:00~ B短編集「ある家族の肖像」
「娘さんを僕にください」
「leave us alone」
- 17:00~ C「ソウルフラワートレイン」

主催：香川レインボー映画祭実行委員会 (PROUD)

公式サイト：www.kagawa-rff.org

後援：香川県 高松市

協力：情報通信交流館e-とぴあ・かがわ
東京国際レズビアン&ゲイ映画祭
YOU&A.Master

○映画祭のコンセプト

香川レインボー映画祭は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス (LGBTI) など性的少数者を扱った映画を上映しています。国内外から商業映画、自主映画の枠を越え、長編、短編、ドラマ、ドキュメンタリーなど様々な作品を選んでいきます。また、観客と製作者の距離の近い映画祭となっています。たくさんの人と映画を観て笑ったり、制作者の話を聴いたり、あらゆる垣根を越えて楽しんでいただけたらと思います。

○レインボーについて

赤、オレンジ、黄、緑、青、紫の6色からなる虹色の旗は、多様性を認め合い調和を意味するものです。1978年「サンフランシスコ・ゲイ・フリーダムデイ・パレード」において、同性愛者のシンボルとして初めて用いられて以来、広くセクシュアル・マイノリティの運動の中で使用されています。

教職員共済生活協 教職員共済
ご紹介キャンペーン

あんしん むすぶ

紹介した方も紹介された方にもペアで500組
1000名様にすてきな商品があたります！

教職員共済生活協同組合
東四国事業所

フリーダイヤル 0120-27-8140
(平日9時~17時30分)
〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40
香川県教育会館6階
http://www.kyousyokuin.or.jp/

- A.キャラクターぬいぐるみ
- B.群馬の日本酒720ml
- C.山形のお米
- D.宍道湖しじみ&
のどぐろふりかけセット



抽選に外れた方にはエコバックをプレゼント！

10月なかばにご自宅にお送りする加入状況カード
に同封している応募用紙でお申込ください。

カナリア通信
「歴史から学ぶ」

繰り返される「戦い」や「力による決着」から脱し、互いを尊重することを前提とした話し合いで物事の決着を図ろうと努めていると思っていなければならない。◆世の中はまだまだ「力」優位が揺るがないというところを見せつけられました。◆でも、システムとしての民主主義はなくなっています。この数か月、「政治は他人ごとではない」「自分たちの将来は自分たちで決めたい」と若者が声を上げ始めました。一つの結果が出された後、「選挙に行こうよ。」と連呼しはじめた姿に希望を感じました。◆江戸から明治へ、世の中のことを知った若者たちが自分たちの藩のことを、日本のことを考えて行動しました。戦後、女性や青少年は戦争で壊された日本の復興をはたすために、自分たちの将来のために、できることを必死に進めました。後を託す人を失った人々も、己を奮い立たせたことでしよう。◆同じように過ぎていく時間の流れの先にわたしたちは生きています。過去の様々な記憶があり、現在の世界の争いの情報があり、「戦い」がよい解決方法でないことを示しています。◆今まで以上に、真剣に生きたいと思えます。わたしたちも歴史の一部になるときまで。